南あわじ市 平成 21 年度 事務事業評価シート 口 新規 ☑ 継続 - ____ (事業 委託 補助用)

I 基本	事項		•		115-10	,,		整理	番号	11:	20
事業名 新入学生配布防犯ブザー			I 基 λ	予	会計	一般会	<計·1				
			八	算	款	教育費	10款				
担当部課名	教育	部	学校教育課	Ę	科	項	小学校	費・2 項	į		
電話	0799	0799 - 37 -3018			目	目	教育振	興費·2	目		
事業分類	■ 義務的(法定)事務		法的根据	T							
争未刀积	☑ 任意的(自治)事務			(法令、条例、 要	更綱等)						
まちづく			がくりの柱	人づくり知恵	まあふれ	郷土	愛が満	ちるまち	づくり_	_	
南あわじ市総合計		まち	づくりの目標	一人ひとりが即	月日を拓	くりータ	ブー【教育	育】			
施策体系	施策目標		子ども達や市民が、南あわじ市の未来を切り拓くための、多様な能								
				力を身につける機会を提供する							
該当する事業について「 」を選択			施策的事業		業	务委託		負担	金補助		

Ⅱ Plan (計画、事業内容、事業背景)

	гіан		
		対 象 (誰を・どのような状況の人に)	
		小学校新入学生	対象人数(人)
			456
	l 🛮	意 図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的	り」を記入)
		市内の児童生徒に防犯ブザーを持たせることにより安全確保の実効性を向	正させる。
	的		
	"3		
		/ワナドのしてかずの 土南 でほにしり口をおきませんしょのかく	
		(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)	A
事業		防犯ブザーを購入し、小学校新入学生に配布する。緑・西淡ライオンズク	
		00個寄贈して頂いているため、市は、不足分する約300個を購入してい	る。
	実		
	施		
概	内		
	容		
要	"		
_			
		"大"人员包扎式设在北边。2015年11月21日 - 1215年12月21日 - 1215年121日 - 1215年121年121日 - 1215年121日 - 1215年121	1+-412
		近年、全国各地で児童生徒の登下校時を狙った連れ去り事件等が頻繁に起	
	36	淡路島内においても例外ではないものと危惧される中、防犯ブザーの必要性	Eか局よっく
	背	いる。	
	_		
	景		
		□ □ 市直営 □ 民間・その他 ()
		事業期間 □ 平成 19 年度 ~ 平成 年度 ☑	設定なし
_	-		IX AL AS U
合併協		(合併前においての事業実施団体と合併時における事務調整経緯)	
1//		旧緑町 □ 旧西淡町 □ 旧三原町 □ 旧南淡町 □ 旧広域事務組合 □	新市から
協			
議			
事			
務			
調			
整			
務調整内容			
宓			
П			

Ⅲ Do(事業活動・成果、投入資源・コスト)

川 DO(事業活動・成果、投入資源・コスト)								
		指標名	新入学児童数			<u></u>	指標単位 人	
		指標説明 (指標算出 方法等)	新入学児童人数並びに配布児童生徒数					
事	業に対する		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
目	標の設定	目標値	471	444	456	475	475	
		実績値	471	444	456			
		達成度 (%)	100.0	100.0	100.0	-	-	
		目標値設定 の考え方	新入学児童数に対し、防犯ブザーを配布した数。					
			平成18年度	平成19年度	平成20年度		平成22年度	
	直接事業		50	63	122	169	156	
	ブザー購入費		50	63	122	169	156	
資								
源		原 (千円)						
配		玉						
分								
\sim		!債						
	その他 一般財源[A] 人件費(正規職員)[B] (千円) 平均人件費(1日当り)							
ププ			50	63	122	169	156	
			0	0	0	0	0	
ŀ			29.9	30.1	27.9	28.2	28.2	
\	事業量1(事業							
	事業量2(事業				166	100	1.7.0	
		([A]+[B])	50		122	169		
	「目的」対象人数1人	し当り経費 (円)	109.6	138.2	267.5	370.6	342.1	
	経費に関する 補足説明							

Ⅳ Check (事業の自己評価・一次評価)

単位 平成18年度 平成19年度 平成20年度 平 目標達成度 % 100.0 10	- ブザーの音色や音	2年 (5点) 5 自己評価 (5点) (5点)
(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 新入学児童全員へ配布できた。 (住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 「子ども安全・安心加速化プラン」において、子どもが携帯する防犯: 量、耐久性、操作性等の基準が策定されており、適合した製品の普及をより安全確保の実効性を向上させることができる。		己評価 5 自己評価
達成度 (住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 「子ども安全・安心加速化プラン」において、子どもが携帯する防犯量、耐久性、操作性等の基準が策定されており、適合した製品の普及をより安全確保の実効性を向上させることができる。		己評価 5 自己評 5点 (5点)
達成度 (住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 「子ども安全・安心加速化プラン」において、子どもが携帯する防犯:量、耐久性、操作性等の基準が策定されており、適合した製品の普及をより安全確保の実効性を向上させることができる。 性		己評価 5 自己評価
成度 (住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 「子ども安全・安心加速化プラン」において、子どもが携帯する防犯: 量、耐久性、操作性等の基準が策定されており、適合した製品の普及をより安全確保の実効性を向上させることができる。		点) 5 自己評
度 (住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 「子ども安全・安心加速化プラン」において、子どもが携帯する防犯: 量、耐久性、操作性等の基準が策定されており、適合した製品の普及をより安全確保の実効性を向上させることができる。 性		(5点
(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 「子ども安全・安心加速化プラン」において、子どもが携帯する防犯: 量、耐久性、操作性等の基準が策定されており、適合した製品の普及をより安全確保の実効性を向上させることができる。 性		5 自己評
「子ども安全・安心加速化プラン」において、子どもが携帯する防犯: 量、耐久性、操作性等の基準が策定されており、適合した製品の普及を より安全確保の実効性を向上させることができる。 性		自己評
「子ども安全・安心加速化プラン」において、子どもが携帯する防犯: 量、耐久性、操作性等の基準が策定されており、適合した製品の普及を より安全確保の実効性を向上させることができる。 性		自己評
「子ども安全・安心加速化プラン」において、子どもが携帯する防犯: 量、耐久性、操作性等の基準が策定されており、適合した製品の普及を より安全確保の実効性を向上させることができる。 性		自己評
「子ども安全・安心加速化プラン」において、子どもが携帯する防犯: 量、耐久性、操作性等の基準が策定されており、適合した製品の普及を より安全確保の実効性を向上させることができる。 性		点評
「子ども安全・安心加速化プラン」において、子どもが携帯する防犯: 量、耐久性、操作性等の基準が策定されており、適合した製品の普及を より安全確保の実効性を向上させることができる。 性		点評
量、耐久性、操作性等の基準が策定されており、適合した製品の普及を 有 効 性 性		点評
有 より安全確保の実効性を向上させることができる。 効 性	で促進することに	点評
性		
性		
		4
単位 平成18年度 平成19年度 平成20年度 平		•
	成21年度 平成2	2年度
事業単価 円 109.6 138.2 267.5	370.6	342.1
(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。)	0.0.0	0.2
本事業の目的並びに内容から、市内のどの地域の子どもが対象になる	かろ相できない	(自
効 こと、また、対象者が自らの力で対応できるような環境整備が必要と考		5 己
対 こと、また、対象者が自らの力で対応できるような環境整備が必要と考 単	776 34000	点評
性		→ 価
		3
公共性の高低 □ 高 ☑ 中 □ 低		
(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。)		4
近年、全国各地で児童生徒の登下校時を狙った連れ去り事件等が頻繁	8に起きており、	
┃ 🚜 ┃淡路島内においても例外ではないものと危惧される中にあっては必要で		()日
		自己評
必 次路島内においても例外ではないものと危惧される中にあっては必要で 要		点評
要性		(5 点)
要		点評
要		点評
要		点評)価
要		点評)価
要性性 自己評価をふまえた現状分析 全国的に児童生徒に対する事件が多発してお		点評)価
要性性 自己評価をふまえた現状分析 全国的に児童生徒に対する事件が多発しており、特に、登下校時の安全確保が求められてい 評価グラフ		点評)価
自己評価をふまえた現状分析 全国的に児童生徒に対する事件が多発しており、特に、登下校時の安全確保が求められているため、それを抑止・防止する観点から本事業		点評)価
自己評価をふまえた現状分析 全国的に児童生徒に対する事件が多発しており、特に、登下校時の安全確保が求められているため、それを抑止・防止する観点から本事業の必要性が高い。	*ある。	点評)価
自己評価をふまえた現状分析 全国的に児童生徒に対する事件が多発しており、特に、登下校時の安全確保が求められているため、それを抑止・防止する観点から本事業の必要性が高い。 なお、ブザーを配布するだけに止まらず、児		点評)価
自己評価をふまえた現状分析 全国的に児童生徒に対する事件が多発しており、特に、登下校時の安全確保が求められているため、それを抑止・防止する観点から本事業の必要性が高い。 なお、ブザーを配布するだけに止まらず、児童生徒への犯罪に巻き込まれないための教育	*ある。	点評)価
自己評価をふまえた現状分析 全国的に児童生徒に対する事件が多発しており、特に、登下校時の安全確保が求められているため、それを抑止・防止する観点から本事業の必要性が高い。 なお、ブザーを配布するだけに止まらず、児童生徒への犯罪に巻き込まれないための教育や、家庭及び地域の防災意識を高める施策を実		点評)価
自己評価をふまえた現状分析 全国的に児童生徒に対する事件が多発しており、特に、登下校時の安全確保が求められているため、それを抑止・防止する観点から本事業の必要性が高い。 なお、ブザーを配布するだけに止まらず、児童生徒への犯罪に巻き込まれないための教育や、家庭及び地域の防災意識を高める施策を実		点評)価
	茂度	点 (点 (点 () () () () () () () () () () () () ()
■ 自己評価をふまえた現状分析 全国的に児童生徒に対する事件が多発しており、特に、登下校時の安全確保が求められているため、それを抑止・防止する観点から本事業の必要性が高い。 なお、ブザーを配布するだけに止まらず、児童生徒への犯罪に巻き込まれないための教育や、家庭及び地域の防災意識を高める施策を実		点 (点 (点 () () () () () () () () () () () () ()
	茂度	点 (点 (点 () () () () () () () () () () () () ()
自己評価をふまえた現状分析 全国的に児童生徒に対する事件が多発しており、特に、登下校時の安全確保が求められているため、それを抑止・防止する観点から本事業の必要性が高い。 なお、ブザーを配布するだけに止まらず、児童生徒への犯罪に巻き込まれないための教育や、家庭及び地域の防災意識を高める施策を実施する必要がある。	茂度	点 (点 (点 () () () () () () () () () () () () ()
自己評価をふまえた現状分析 全国的に児童生徒に対する事件が多発しており、特に、登下校時の安全確保が求められているため、それを抑止・防止する観点から本事業の必要性が高い。 なお、ブザーを配布するだけに止まらず、児童生徒への犯罪に巻き込まれないための教育や、家庭及び地域の防災意識を高める施策を実施する必要がある。	茂度	点 (点 (点 () () () () () () () () () () () () ()
自己評価をふまえた現状分析 全国的に児童生徒に対する事件が多発しており、特に、登下校時の安全確保が求められているため、それを抑止・防止する観点から本事業の必要性が高い。 なお、ブザーを配布するだけに止まらず、児童生徒への犯罪に巻き込まれないための教育や、家庭及び地域の防災意識を高める施策を実施する必要がある。 必要性 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		点 (点 (点 () () () () () () () () () () () () ()
自己評価をふまえた現状分析 全国的に児童生徒に対する事件が多発しており、特に、登下校時の安全確保が求められているため、それを抑止・防止する観点から本事業の必要性が高い。 なお、ブザーを配布するだけに止まらず、児童生徒への犯罪に巻き込まれないための教育や、家庭及び地域の防災意識を高める施策を実施する必要がある。 必要性 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	茂度	点 (点 (点 () () () () () () () () () () () () ()
自己評価をふまえた現状分析 全国的に児童生徒に対する事件が多発しており、特に、登下校時の安全確保が求められているため、それを抑止・防止する観点から本事業の必要性が高い。 なお、ブザーを配布するだけに止まらず、児童生徒への犯罪に巻き込まれないための教育や、家庭及び地域の防災意識を高める施策を実施する必要がある。 必要性 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		点 (点 (点 () () () () () () () () () () () () ()

V Action & Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成22年度にできる改善・改革	平成23年度以降にできる中期的な改善・改革
	☑ 現状維持 □ 休止·廃止 □ 事業統廃合	☑ 現状維持 □ 休止·廃止 □ 事業統廃合
소	□ 予算充実 □ 予算削減 □ 手法見直し	□ 予算充実 □ 予算削減 □ 手法見直し
今後の方向性とその理	近年、全国的に児童生徒を巻き込む犯罪が多 発していることを踏まえて、平成22年度も現 状維持で実施する。	同左。
性とそ		
の理由		
現		
的対は外の		
方場 法合)		
	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
改善によって (現状維持		
期以	コスト面	コスト面
改善によって期待される効果(現状維持以外の場合)		
1)	仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラ	
現中状	このような防犯ツールを廃止するのは、保護	首・字校からの埋解は得られない。
上維 ・持		
統の廃場		
合のも影記		
響入		